

ハあも二い

『男女共同参画推進員』 ってなあに？^{その2}

今回は、「情報誌編集担当」「パートナーセンターフェスティバル担当」「男女共同参画地域推進講座の企画・運営」についてご紹介します。

私たち、情報誌編集担当は、現在6人のスタッフで活動しています。



情報誌「ハあも二い」の編集企画会議を平均月1回開き、皆さんに関心を持っていただける誌面の作成に向けて取り組んでいます。男女共同参画社会をテーマとした様々な企画を始め、地域推進講座や推進セミナーの取材を通して、情報誌が皆さんへの情報発信基地となることを願い、熱く語り合っています。
(睦合北地区 門倉)

「あつぎパートナーセンターフェスティバル」は、センターの利用団体によるイベントで、毎年11月第2土日に行っています。自慢の作品の展示や、ステージで成果を披露する催物、おでんやそば・うどんなどの喫茶コーナーを行っています。

推進員は、フェスティバルのスタッフとして、展示や催物のサポートと、喫茶コーナーの調理から配膳までを担当しています。ランチタイムは、たくさんのお客さんで店内也大わらわです。

「男女共同参画地域推進講座」は、市民協働に根ざした啓発を目指し、今年で2年目に入りました。

男女共同参画に関する講座をパートナーセンターを離れ、より身近な場所にある各公民館で、地元の推進員が実施しています。

推進員は、毎回斬新なアイデアを出し合っ、企画から当日の運営までを担当しています。

あなたの職場のセクシュアルハラスメント対策を知っていますか？
職場でのセクシュアルハラスメント対策については、これまでも配慮が求められてきましたが、平成19年4月1日に施行された改正男女雇用機会均等法及びそれに基づく指針により、職場における男女双方に対するセクシュアルハラスメント対策として、次のような措置を講ずることが事業主の義務となりました。

■具体的には・・・

1. 事業主の方針の明確化と労働者に対するその方針の周知・啓発
2. 相談・苦情に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備
3. 相談があった場合の事実関係の迅速かつ正確な確認と適正な対処
4. 上記の措置と併せて、相談者や行為者などのプライバシーを保護し、相談したことや事実関係の確認に協力したこと等を理由として不利益な取扱いをおこなってはならない旨を定め、労働者に周知・啓発



このような対策が講じられず是正指導にも応じない場合、企業名公表の対象となります。

また、この規定は派遣元のみならず派遣先の事業主にも適用されます。

あなたの職場のセクシュアルハラスメント対策や相談窓口を確認してみましょう。

■ご相談は神奈川労働局雇用均等室 (TEL 045-211-7380) へ
受付時間 8:30~17:15 (土・日・祝日・年末年始を除く)。相談は無料。相談内容などのプライバシーは守られ、匿名での相談も可能です。

編集後記

普段、何気なく使っている「パパ・ママ」などの呼び名も、今回のアンケートから、世代で異なることに気付かされました。そういえば、我が家でも子どもの誕生や成長にしたがってお互いの呼び名も変わってきたかも。
そうだ、今日から、若い頃に戻って名前と呼んでみようかな。
(睦合北地区 剣持)

平成20年3月発行
編集 ハあも二い編集委員
発行 厚木市市民協働部男女共同参画課
厚木市中町1-4-3 あつぎパートナーセンター内
電話 (046) 225-2500 (直通)
FAX (046) 223-8432
e-mail 1150@city.atsugi.kanagawa.jp

わたしたちがめざす男女共同参画社会とは、「すべての人が尊重され、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場などにおいて個人の能力を十分に発揮することができる社会」です。

夫&妻 お互いをどう呼んでいますか？

今回、講座等にご参加いただいた方々に、アンケートをお願いしました。質問は4つ。
「あなたはパートナーをどう呼んでいますか？」
「どう呼ばれていますか？」
「何と呼んで欲しいですか？」
「呼び方・呼ばれ方についてご意見はありますか？」

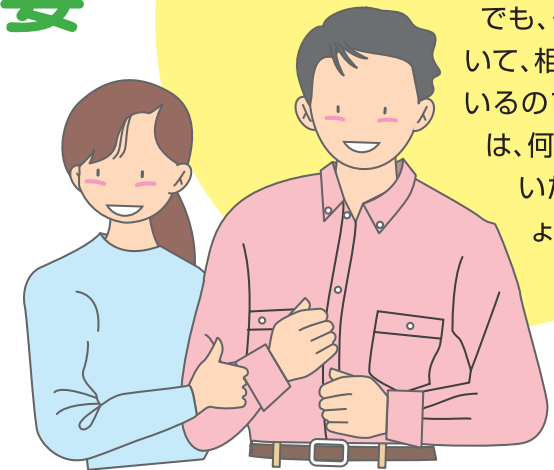
右のグラフは結果の一部です。ご意見いただきましたのでご紹介します。

- ・子どもが小さいうちは「パパ」「ママ」と呼ぶのが分かりやすい。
- ・「おい」「あんた」とは呼ばれたくありません。
- ・お互いを尊重し合える呼び方がいい。

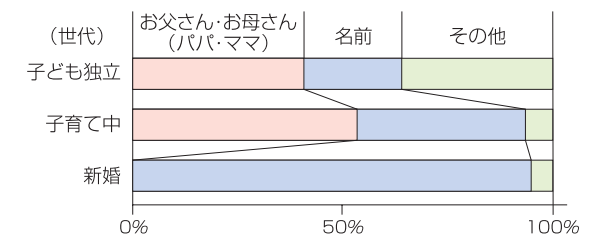
その他「優しく呼びかけてほしい。」等のご意見もありましたが、名前と呼び合えるのが好ましいと思う方が多かったようです。

(小鮎地区 志村)

夫「お〜い、お茶」
妻「・・私の名前は、'お〜い'ではありません」
あなたは、夫(妻)をどう呼んでいますか？
家族や夫婦の間で、呼び方の正解などありません。それはお互いのルール。
でも、その呼び方について、相手はどう感じているのでしょうか。本当は、何と呼んでもらいたいのでしょうか？



質問 「あなたはパートナーにどう呼ばれていますか？」



- 主な内容 P1・2 夫&妻 お互いをどう呼んでいますか？
P3 荻野・小鮎地区、睦合北・南地区 地域推進講座レポート
P4 男女共同参画推進員ってなあに？その2 トピックス「セクハラ対策」

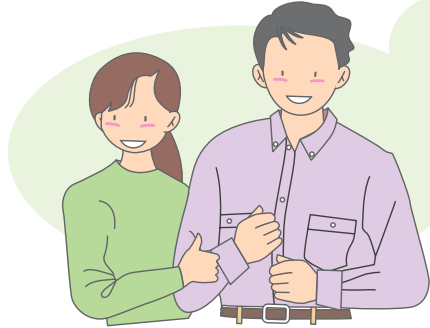
なぜ？ 「夫婦の呼び方」 と「男女共同参画」

「名は体を表す」ではないですが、名前や呼び名には、相手を特定する以外の何かが含まれている気がします。夫婦間の呼び名は、その夫婦関係を表す縮図ともいえそうです。

また、呼び名はコミュニケーションの始まりの言葉であり、会話のきっかけでもあります。相手を大切に思う心で呼び合いたいものです。

男女共同参画の最小単位は「家族」ではないでしょうか。

男性も女性も、それぞれの生き方や役割分担を決めつけず、お互い思いやりの心を持って接することで、より円満で快適な家庭を築いていきましょう。



？ 私はあなたの 「お母さん？」

アンケートを見ると、子どもの成長に伴い、夫婦の呼び名が変化していることが読み取れます。家族も夫婦も、年を重ねる中でその形を変えていきます。

定年後、会社の肩書きがなくなるように、子育てを終えたら、「お父さん・お母さん」の肩書（呼び方）を卒業してみるのがよいかもしれません。

？ その他の「中身」

表紙のアンケート結果によると、子どもが独立した後、増えている「その他」の内訳は、「お～い」「ちょっと」など、人格を無視したような呼び方がほとんどです。中には「呼ばれない」という人も・・・。「言葉にしなくても通じる」のかもしれませんが、共に歩んできた人に対して、それはあまりに寂しいものです。

「今更、照れくさい」というなら、「お～い、お茶だよ」と、二人分のお茶をいれて、二人で会話する時間を作ってみてはいかがでしょうか。

コラム 「主人」と「家内」

今回はパートナーの呼称についてアンケートしましたが、友人同士の会話の場合はどうでしょうか。例として電話の場合、あなたの返事は次のどれになりますか。

例1 「もしもし、〇〇さんのお宅ですか、ご主人はおいででしょうか？」

- ① 「はい、〇〇ですが、夫はただいま外出しています」
- ② 「はい、〇〇ですが、〇〇は出掛けております」
- ③ 「はい、〇〇ですが、主人は居ません。・・・夫ならいますが・・・」

例2 「もしもし、〇〇さんのお宅ですか、奥さんはおいででしょうか？」

- ① 「はい、〇〇ですが、家内は出掛けています」
- ② 「はい、〇〇ですが、妻は出掛けています」

「主人」「家内」という呼称に以前から疑問の声が上がっています。

世間では「男女平等」「男女共同参画」といいながら、その原点である家庭で、この呼称はおかしいとの指摘です。小生は「主人」「家内」に抵抗はありません。しかし、若い世代に聞きますと「夫」「妻」または「名前」が多いようです。

意識改革・構造改革といわれる今でも、小生の世代は保守的なのか、「コトバ」の改革には時間がかかるのかもしれませんが。

(荻野地区 岩本)

『男女共同参画についての意識啓発を地域から』 男女共同参画地域推進講座レポート

2月2日(土)小鮎公民館で、「ココロとからだ ふたりを楽しむヒント」、2月23日(土)睦合北公民館で、「落語でティータイム～冬の午後をHOTに過ごす！～」が開催されましたので報告いたします。

小鮎公民館では、二人の講師による講演会を行いました。



作家・池田智子^{いけだともこ}さんは「夫と妻の明日を楽しく」をテーマに、定年後の夫婦のあり方について講演されました。

会社人間だった男性が定年後、家庭に入り戸惑うことがいかに多いか、自身が見聞きした事例を挙げ、定年後の生活をより良くするためには、今後の夫婦のあり方について、二人

で改めて話し合うことが必要であること。

新婚時代の「一心同体」と違い、子育てが終わった夫婦は「二心異体」。つかず離れず程良い「者間距離」を保って、これからの二人きりの生活の、末永い安全運転に努めてほしい。そして、時には一緒に映画や旅行を楽しみ「共通の趣味」を持てると素敵ですねと、お話されました。



2人目の講師、石川謙吉^{いしかわけんきち}さんは、34歳でアマチュアボクシング(ミドル級)全日本チャンピオンを取ったという経歴の持ち主。「現在74歳！生活の中でできる健康づくり」と題して、布団の上げ下ろし、エレベーターを避け階段を利用するなど、「日常生活をきちんとこなすことが健康の秘訣」と熱弁を奮われました。

夫婦が楽しく過ごすためにも、健康であることは大切だと思います。会場は、テーブルをパーティースタイルに並べ、推進員手作りのフラワーアレンジやお菓子なども振る舞われ、とても和やかな雰囲気でした。

講演終了後は、「夫婦の呼び方について」のアンケートを基に、自由な発言をいただきました。

(荻野地区 岩本)



「男女共同参画」という言葉にはなじみがないけれど、今回のように身近な地域で行った講座をきっかけに、男女が共に尊重し合い協力する事の大切さ、一緒に過ごす時間の楽しさに気付いていただけたらと思います。

男性は「白玉ぜんざい・団子作り教室」 女性は「ハーブティー教室」

睦合北公民館での講座は2部制。I部は、男女がそれぞれの会場に分かれ、男性は「白玉ぜんざい・団子作り教室」、女性は「ハーブティー教室」を行いました。

男性陣の調理室をのぞいてみると、睦合北地区、門倉伸栄^{かどくらのぶえ}さんの指導の下、驚くほど鮮やかな手つきで(日ごろの練習の成果?) 予定時間より早くでき上がり、盛り付けも粘土細工のようで楽しそうでした。

ハーブティー教室は、講師に戸塚恵津子^{とつかえつこ}先生をお迎えし、ハーブの効用・入れ方のポイント・ブレンドテクニックなどの説明後、グループごとにブレンドティーを作り、試飲をしながら感想を話し合いました。



その後は、お互いが作った白玉とお茶を持ち寄り、全員でティータイム。様々な話題で会話の花が咲きました。

II部は、落語ができるギタリストの濱崎隆^{はまざきたかし}さんによる「音楽と落語の宅配便」。「音楽と歌に男女の差は無い」など、演奏の合間の愉快的トークと落語を楽しみ、あっという間の90分でした。(南毛利地区 奥田)

